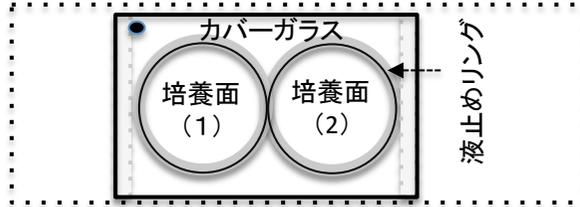


カバーガラス(CG)培養法に用いる「液止め丸枠のひな形」台紙。

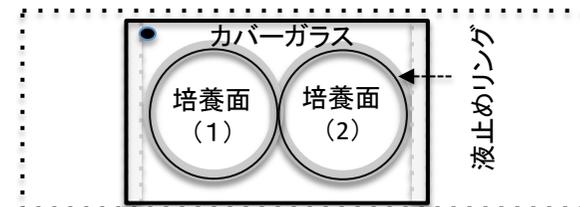
注意：1) カバーガラスには手書きの「黒印」がある。その印が左上になるガラス面が「細胞の培養面」である。また、右図の丸内が培養面なので触らないように注意する。2) カバーガラスの左右2mm幅は余白（輪ゴム止め域）とする（下図参照）。3) 液止めリングをCGに描く時は、「ガラス割れ」を防止するため、固い平板（テーブル）に台紙（ひな形）を載せ、更にCGを載せ描く（厚みのある紙タオルなどの上ではひび割れが生じる）。

方法：1) 台紙（図）の上にカバーガラスを載せ、2) 下絵の円形を細書き油性ペンでガラス面に描く。3) 描いた丸線の上をマーキング色鉛筆を用い強い筆圧で繰り返し線を描き太線を作る。切れ目がないように塗りつぶす。4) カバーガラスの左上にはオモテ/ウラの識別のため油性ペンで目印を書く。



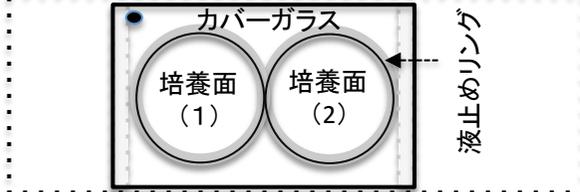
注意：1) カバーガラスには手書きの「黒印」がある。その印が左上になるガラス面が「細胞の培養面」である。また、右図の丸内が培養面なので触らないように注意する。2) カバーガラスの左右2mm幅は余白（輪ゴム止め域）とする（下図参照）。3) 液止めリングをCGに描く時は、「ガラス割れ」を防止するため、固い平板（テーブル）に台紙（ひな形）を載せ、更にCGを載せ描く（厚みのある紙タオルなどの上ではひび割れが生じる）。

方法：1) 台紙（図）の上にカバーガラスを載せ、2) 下絵の円形を細書き油性ペンでガラス面に描く。3) 描いた丸線の上をマーキング色鉛筆を用い強い筆圧で繰り返し線を描き太線を作る。切れ目がないように塗りつぶす。4) カバーガラスの左上にはオモテ/ウラの識別のため油性ペンで目印を書く。



注意：1) カバーガラスには手書きの「黒印」がある。その印が左上になるガラス面が「細胞の培養面」である。また、右図の丸内が培養面なので触らないように注意する。2) カバーガラスの左右2mm幅は余白（輪ゴム止め域）とする（下図参照）。3) 液止めリングをCGに描く時は、「ガラス割れ」を防止するため、固い平板（テーブル）に台紙（ひな形）を載せ、更にCGを載せ描く（厚みのある紙タオルなどの上ではひび割れが生じる）。

方法：1) 台紙（図）の上にカバーガラスを載せ、2) 下絵の円形を細書き油性ペンでガラス面に描く。3) 描いた丸線の上をマーキング色鉛筆を用い強い筆圧で繰り返し線を描き太線を作る。切れ目がないように塗りつぶす。4) カバーガラスの左上にはオモテ/ウラの識別のため油性ペンで目印を書く。



注意：1) カバーガラスには手書きの「黒印」がある。その印が左上になるガラス面が「細胞の培養面」である。また、右図の丸内が培養面なので触らないように注意する。2) カバーガラスの左右2mm幅は余白（輪ゴム止め域）とする（下図参照）。3) 液止めリングをCGに描く時は、「ガラス割れ」を防止するため、固い平板（テーブル）に台紙（ひな形）を載せ、更にCGを載せ描く（厚みのある紙タオルなどの上ではひび割れが生じる）。

方法：1) 台紙（図）の上にカバーガラスを載せ、2) 下絵の円形を細書き油性ペンでガラス面に描く。3) 描いた丸線の上をマーキング色鉛筆を用い強い筆圧で繰り返し線を描き太線を作る。切れ目がないように塗りつぶす。4) カバーガラスの左上にはオモテ/ウラの識別のため油性ペンで目印を書く。

